

# 価値創造の持続性に関するマテリアリティ

ミウラグループでは、価値創造プロセスとその持続性に重要な影響を及ぼす課題として、環境負荷の低減、人財戦略・マネジメント、労働安全衛生、製品・サービスの品質管理、サプライチェーンマネジメント、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスの7項目をマテリアリティとしています。

株主・投資家などの主要ステークホルダーとの対話を通じて認識した当社に対する期待・要請や、主要ESG評価機関の評価項目、米国サステナビリティ会計基準審議会(SASB)の産業別マテリアリティなどを参考に、ミウラグループの中長期的な価値創造において重要度の高いテーマを抽出し、取締役会での審議と承認を経て特定しました。

「熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、きれいで快適な生活の創造に貢献します」という企業理念の実現に向けて、それぞれのマテリアリティ項目の維持・強化に向けた取り組みを進めることにより、価値創造プロセスを円滑に回し、社会的価値創出と経済的価値創出の両立、すなわち共通価値の創造を通じて、中長期での持続的な成長へとつなげていきます。

## ミウラグループのマテリアリティ

E/S/G	マテリアリティ	主な関連資本	主な取り組み内容	参照ページ
E 環境	① 環境負荷の低減	自然資本	環境に配慮した製品開発、自社操業におけるエネルギーの有効利用、排出物削減と資源の有効利用、化学物質管理	P.68
S 社会	① 人財戦略・マネジメント	人的資本	人財育成、多様な人財の活用、職場環境の整備、人権尊重	P.58
	② 労働安全衛生	人的資本	労働災害防止、安全衛生教育の実施、健康経営の推進	P.62
	③ 製品・サービスの品質管理	知的資本 社会・関係資本	品質向上会議、製品開発におけるリスクアセスメント、製品不適合への迅速・適切な対応	P.64
	④ サプライチェーンマネジメント	社会・関係資本 自然資本	調達におけるBCP、四位一体改革の推進、PC交流会、グリーン調達	P.66
G ガバナンス	① コーポレート・ガバナンス		取締役会の実効性評価を活用したガバナンス体制の強化、実効性向上への取り組み	P.48
	② コンプライアンス	社会・関係資本	贈収賄防止、安全保障輸出管理、知的財産の保護	P.56